

ジャマイカ政治・経済月間情勢（2021年11月～12月）

【要旨】

内政では、新型コロナの影響により既に2022年2月末に延期されている地方選挙について、経済及び犯罪状況が落ち着くまでは実施されないことが発表された。外交においては、ジャマイカ人米国移住者のニック・ペリー氏が次期駐ジャマイカ米国大使に任命された。日・ジャマイカ関係では、総額2000万ジャマイカドル相当の草の根無償資金協力事業セント・エリザベス県ブラックリバー高校校舎建築計画引渡式が行われ、ウィリアムズ教育・青年・情報大臣は、日本政府によるジャマイカの学校の改築及び改善のための継続的な投資に謝意を表した。新型コロナ関連では、新型コロナワクチン完全接種者のみ政府の会合及び政府が承認したイベントへの参加が許可されると発表された。

1 内政

(1) 政治動向

ア セント・アンドリュー県南西地区議員のアンジェラ・ブラウン・バーク氏は10月30日、女性初のPNP議長に選出され、新たな歴史を築いた。（10月30日付オブザーバー紙）

イ ホルネス首相は11月18日、すでに新型コロナの影響により2022年2月末に延期されている地方選挙について、経済及び犯罪状況が落ち着くまで実施しないと述べた。（11月20日付グリーナー紙）

(2) 法案関連

ア 災害対策・危機管理局（ODPEM）は11月4日、ジャマイカの国家津波対応計画及び手順規定を策定した。（11月5日付広報局）

イ ホルネス首相が11月28日、違法銃器の所持罪は死刑にすべきであると発言した件についてPNPは、首相が扇動政治家である兆候ではないかと言及した。（11月30日付オブザーバー紙）

2 経済

(1) 経済動向

ア クラーク財務・公共サービス大臣は、2021年4月から6月にかけて14.2%の成長率を示し、7月には93,400人の雇用が増加したことを言及し、コロナによる経済への打撃から回復しつつあると述べた。（11月2日付広報局）

イ IMFは、ジャマイカの2021年財政年度の成長率を約8%、2022年度は3.5%と予測している。（11月18日付オブザーバー紙）

(2) 観光収入

ジャマイカは12月31日までに、150万人の訪問客（収益19億米ドル）を予測している。2023年末までには、410万人（250万人の滞在客、160万人のクルーズ船乗客）、

収益 42 億米ドルと予測。(11月10日付広報局)

3 外交

(1) 国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議 (COP 26)

パーネル・チャールズ・ジュニア環境・気候変動大臣は11月3日、国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議 (COP 26) にてジャマイカは、気候変動に係るプロジェクトのために財源を利用できる権限を得た 5 カ国に選出されたと発表した。(11月4日付オプザーバー紙)

(2) 次期駐ジャマイカ米国大使

バイデン米大統領は11月3日、ジャマイカ人米国移住者のニック・ペリー氏を次期駐ジャマイカ米国大使に任命した。(11月4日付ループニュースジャマイカ)

4 日・ジャマイカ関係

(1) 岸田総裁への祝辞

スミス外相は、自身のツイッターにて、自民党及び公明党による連立政権を率いる岸田総裁が衆院総選挙にて過半数を確保したことに対し、「任期中の日・ジャマイカ関係強化を期待している。」と祝辞を述べた。(11月1日付スミス外相ツイッター)

(2) 草の根無償資金協力事業

ア 保健省にて実施された引渡式において、藤原大使よりタフトン保健大臣に供与された救急車は、マンデビル地域病院に寄与される。(11月4日付ネーションワイドニュース)

イ 11月12日、総額 200 万ジャマイカドル相当の草の根無償資金協力事業セント・エリザベス県ブラックリバー高校校舎建築計画引渡式が行われ、教室 4 部屋及び職員室 1 部屋が供与された。ウィリアムズ教育・青年・情報大臣は、日本政府によるジャマイカの学校の改築及び改善のための継続的な投資に謝意を表した。(11月14日付広報局)

(3) JET プログラム

11月末に、ジャマイカ人 23 人が JET プログラムに参加するため日本に旅立つにあたり、藤原大使は、「参加者は英語を教えるサポートのみでなく、任地におけるジャマイカの親善大使として国を代表する役割がある。」と述べた。ジャマイカにおける JET プログラムは 20 周年を迎え、これまで 400 人が参加した。(11月20日付広報局)

5 新型コロナウイルス関連

(1) 新型コロナ検査

ジャマイカ・ホテル・ツーリスト協会によると、新型コロナ検査費用が以前と比較し 65%安価になっており、あるホテルでは抗原検査が 17.5 米ドルであると報告された。

(11月10日付グリーナー紙)

(2) 学生のワクチン接種率

教育・青年・情報省は11月9日、学生人口24万人のうち99,887人の学生が少なくとも1回目のファイザー製ワクチンを接種していると発表した。完全接種の学生が65%に達した学校から、接種済みの学生は対面授業を受けられるようになる。(11月10日付広報局)

(3) 新たなコロナ対策

ホルネス首相は11月24日、新型コロナワクチン完全接種者のみ政府の会合及び政府が承認したイベントへの参加を許可すると発表した。(11月25日付ループニュースジャマイカ)

(4) オミクロン株

ジャマイカにて数日間滞在の後、イギリスに帰国した旅行者1名が新型コロナオミクロン株に感染していたことが明らかになった。(12月22日付オブザーバー紙)

この資料は、ジャマイカの政治・経済情勢を中心に各種報道・発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は、在ジャマイカ日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。